



リリースノート

# TRIMBLE® ACCESS™ ソフトウェア

バージョン 2013.01  
改訂版 A  
2013 三月



リリースノート.....	3
本社.....	3
製品情報.....	3
Trimble Access 最新リリース.....	8
Trimble Access 前回までのリリース.....	9
その他の情報.....	24
ヘルプと資料に関して.....	25

# リリースノート

## 本社

Trimble Navigation Limited  
Engineering & Construction Group  
935 Stewart Drive  
Sunnyvale, California 940859  
U.S.A.  
www.trimble.com

## 著作権と商標

© 2009 – 2013, Trimble Navigation Limited. 著作権所有

Trimble、地球儀と三角形のロゴ、Autolock、GPS Pathfinder、Terramodel および TSC2 は、米国登録商標特許庁に、そしてその他の国々で登録された Trimble Navigation Limited の商標です。

Access、GX、Link、Trimble Geomatics Office、Trimble Survey Controller、Trimble Total Control、TRIMMARK、VISION、および xFill は、Trimble Navigation Limited の商標です。

RealWorks は、Mensi SA の登録商標です。

Microsoft、ActiveSync、Windows、Windows Mobile、Windows Vista は、米国またはその他の国、あるいはその両方における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Bluetooth の文字マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc が所有し、Trimble Navigation Limited によるこうしたマークの使用は使用許可にもとづいています。

その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

この文書は情報提供のみを目的とします。Trimble 社はこの文書内で明示または暗示の保証を行うことはありません。

## リリースノート

これは 2013 年三月月発行(改訂版 A)の「Trimble Access リリースノート」です。Trimble Access ソフトウェアのバージョン 2013.01 に適用します。

## 製品情報

このセクションは、Trimble® Access™ システムのバージョン 2013.01 に関する情報を含みます。

Trimble Access ソフトウェアはフィールドで使用する測量ツールの数々や、オフィスおよびフィールド向けのウェブ基盤のサービスを提供します。これらのプログラムは、お買い求めになったパーツによって、コントローラ、オフィスコンピュータ、または Trimble がホストするサーバなどにインストールされています。

## 新しいコントローラ

Trimble S3 トータルステーション、Trimble M3 トータルステーション、Trimble GeoXR、TSC3、Trimble CU、TSC2@コントローラ

コントローラ・オペレーティングシステムはインストールされています。基準局ソフトウェアや追加アプリケーション、アプリケーションライセンスなどをインストールまたは更新するには、Trimble Access インストールマネージャを使用して下さい。

更に詳しい情報は、[コントローラのソフトウェアの更新とライセンスのインストールを行う](#) をご参照下さい。

## Trimble タブレットコントローラ

オペレーティングシステムはインストールされていません。コントローラを起動して、ウィンドウズ®のオペレーティングシステムをインストールし、Windows のアップデートを適用してください。それから Trimble Access インストールマネージャをインストールすると、アプリケーションやライセンスをインストールできます。

更に詳しい情報は、[コントローラのソフトウェアの更新とライセンスのインストールを行う](#) をご参照下さい。

## コントローラのソフトウェアの更新とライセンスのインストール

コントローラをご使用になる前に、Trimble Access インストールマネージャを使用して、アプリケーション、更新情報、購入されたライセンスファイルをインストールして下さい。

**Note** – For Trimble CU controllers, Trimble Access バージョン 2013.00 and later can be installed only on the Trimble CU model 3 (S/N 950xxxxx). Trimble CU models 1 and 2 have insufficient memory to run later versions of Trimble Access.

Trimble Access インストールマネージャ・ソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再度インストールする必要はありません。インストールマネージャを起動すると、自動的にインターネットに接続し、アップデートを行います。

インストールマネージャを実行するには、以下のいずれかを行って下さい:

- Trimble Tablet コントローラの場合: 「スタート / 全てのプログラム / Trimble Access インストールマネージャ」を選択する。
- その他のコントローラの場合: オフィスコンピュータから「スタート / プログラム / Trimble Access インストールマネージャ」を選択し、コントローラをそのコンピュータに接続する。

**メモ** - インターネットに接続できない時に Trimble Access をコントローラにインストールしたい場合は、Trimble Access Installation Manager と全てのアプリケーションファイル、ライセンスをコントローラにダウンロードしておけばオフラインでインストールできます。これを行うには、Trimble Access をインストールしたいコントローラのシリアル番号が必要です。

Trimble Access アプリケーションとライセンスの更新に関するさらに詳しい情報につきましては：  
[www.trimble.com/taim/](http://www.trimble.com/taim/) をご参照下さい。

## バージョンの使用条件

Trimble Access ソフトウェア・バージョン 2013.01 をインストールして起動するには、二月 2013 年までの有効な保証契約が必要です。

Trimble Access インストール・マネージャでバージョン 2013.01 にアップグレードすると、新しいライセンスファイルがデバイスにダウンロードされます。

ソフトウェアおよびライセンス・ファイルのインストールおよび更新についての詳細は Trimble Access インストール・マネージャのヘルプ・ファイルを参照してください。

## Trimble Solution Improvement Program

Trimble Solution Improvement Program は、Trimble のプログラムがいかに使われ、どのような問題が発生する可能性があるかなどの情報を収集します。Trimble は、この情報をもとに、最も頻繁に使用される製品や機能の向上に役立て、問題解決のお手伝いをし、お客様のニーズにお応えします。参加は任意で強制ではありません。

参加を選択すると、ソフトウェアがお手持ちのコンピュータにインストールされます。そのコンピュータに、Microsoft ActiveSync® 技術や Windows Mobile® Device Center を利用してコントローラを接続するたびに、Trimble Access ソフトウェアがログファイルを生成し、自動的に Trimble サーバへ送ります。このログファイルには、Trimble 機器の用途、特定の地理的地域内でよく使用されるソフトウェア機能、問題が発生する頻度などのデータが含まれており、Trimble が製品の修正に役立たせて頂きます。

Trimble Solution Improvement Program はいつでもアンインストールすることができます。Trimble Solution Improvement Program の参加を中止をご希望の場合は、コンピュータの **プログラムの追加と削除** メニューからソフトウェアの削除を行なうことができます。

## アップグレード後のジョブファイルとスタイルファイルの変換およびデータ転送

コントローラのアプリケーションのアップグレード中に、コントローラの ¥Trimble Data にあるすべてのファイルはオフィスコンピュータに保存されます。必要に応じて、これらのファイルは新しいアプリケーションに対応できるように変換し、コントローラに戻すことができます。

インストール中に、予め定義された ASCII インポート/エクスポートフォーマットなどの新しいバージョンのファイルがコントローラにインストールされます。新しいカスタムインポート/エクスポートフォーマットを作成したり、既存のフォーマットを変更し、**新しい名前**で保存したりした場合も、こうしたファイルはアップグレードまたは新しいアプリケーションのインストールの過程でコントローラに再インストールされます。

予め定義されたフォーマットを変更し、同じ名前

ドする際に上書きされます。ダウンロードされたファイルはオフィスコンピュータの中にまだ残っています。

新しいフォーマットを作成したり、予め定義されたフォーマットをカスタマイズしたりする場合は、新しい名前で保存することをお勧めします。アップグレードが完了したら、Trimble Data Transfer 機能、または Microsoft ActiveSync 技術を使用し、これらのファイルをコントローラに返送してください。

**メモ** – 一般測量 ソフトウェア用の古いジョブをコントローラにコピーしてその場で変換することはできません。

バックアップしたファイルは、以下のロケーションに保存されます：

オフィスのパソコンのオペレーティングシステム	バックアップ保存先
Windows XP	C:\Documents and Settings¥[ユーザ名]\Local Settings\Temp¥[コントローラシリアル番号]-TA¥[タイムスタンプ]
Windows Vista®/Windows 7/Windows 8	C:\Users¥[ユーザ名]\AppData\Local\Temp¥[コントローラシリアル番号]-TA¥[タイムスタンプ]

**メモ** – Trimble Survey Controller™ファイルでコントローラをアップグレードすることができ、これらは一般測量ファイルに変換されます。

ファイルがコントローラにインストールされると、これらはまず[UpgradedFromTrimbleSurveyController]フォルダに保存されます。このフォルダは、Trimble Access を初めて起動しコントローラにログインするときに、ユーザがログイン時に使用したユーザ名と同一の名前に変更されます。

## Trimble Access ソフトウェア バージョン 2013.01 を他の Trimble 製品とともに使用

### Trimble コントローラを使用した統合測量向けの Trimble Access

Trimble Access バージョン 2013.01 は、下の表に示されるソフトウェアおよびハードウェア製品と通信します。下記のバージョン以降であれば通信可能です。

Trimble ソフトウェア	バージョン
Trimble Geomatics Office™	1.63
Trimble Business Center	2.82
Trimble RealWorks®	7.1.1
Trimble 4D Control	4.00
Trimble Link™ (AutoCAD Civil and Civil 3D 2011)	6.0.3
Trimble Data Transfer	1.55
Trimble Total Control™	2.73
Terramodel®	10.61

  

Trimble 受信機	バージョン
Trimble R10	4.70
Trimble R8-2	4.63

Trimble R8-3, R8-4	4.70
Trimble R6	4.63
Trimble NetR9	4.70
Trimble GeoXR	4.55
Trimble 5800	4.63
5800 II	4.63
Trimble R7 GNSS	4.63
Trimble R5	4.63
5700 II	4.63
Trimble R8	2.32
5800	2.32
Trimble R7	2.32
5700	2.32

Trimble 機器	バージョン
Trimble VX™ Spatial Station	R12.3.39
Trimble S3 トータルステーション	M2.1.21
Trimble S6 トータルステーション	R12.3.39
Trimble S8 トータルステーション	R12.3.39
Trimble M3	1.30
	2.10
Trimble 5600 シリーズ	696-03.08
Trimble ATS	696-03.08
Trimble 3600 Elta CP (解釈プログラム付き)	1.15
Trimble 3600	2.10

最新のソフトウェアとファームウェアバージョンについては次もご参照ください:

<http://trl.trimble.com/dscgi/ds.py/Get/File-93082/Survey%20Software%20and%20Firmware.pdf>

注 - Trimble 機器ファームウェアは、[www.trimble.com](http://www.trimble.com) からダウンロードすることができます。

### Trimble Access でサポートされているデバイスオペレーティングシステム

機器	Microsoft Windows オペレーティングシステム	Trimble Access バージョンで初めて対応
Trimble Tablet	Microsoft Windows 7 Professional	1.7.0
Trimble GeoXR	Microsoft Windows Mobile® Version 6.5 Professional	2012.00
Trimble TSC3	Microsoft Windows Mobile®	2012.00

	Embedded Handheld 6.5	
Trimble TSC3	Microsoft Windows Mobile® バージョン 6.5 Professional	1.8.0
Trimble CU Model 3	Microsoft Windows CE .NET バージョン 6.0	1.7.0
Trimble S3	Microsoft Windows CE .NET Version 6.0	2012.00
Trimble M3	Microsoft Windows CE .NET Version 6.0	2011.10
Trimble TSC2	Microsoft Windows Mobile® ポケット PC 用 バージョン 5.0	1.0.0
Trimble CU	Microsoft Windows CE .NET バージョン 5.0	1.0.0

## オフィスソフトウェアの更新

バージョン 2013.01 に更新した場合、オフィスソフトウェアも更新することをお勧めします。Trimble Business Centre ソフトウェアなどの Trimble オフィスソフトウェアに一般測量ジョブをインポートする場合に必要です。

Trimble Access Installation Manager を使用してコントローラをアップグレードする場合、Trimble Access Installation Manager がインストールされているコンピュータのソフトウェアも同時にアップグレードされます。アップグレードに使用されなかった他のコンピュータを更新するには、以下のいずれかを行います：

- Trimble Access Installation Manager をそれぞれのコンピュータにインストールして、Office Updates を起動します。
- Trimble Access ソフトウェアの Trimble Update Office Software パッケージを、[www.trimble.com/support\\_trl.asp?Nav=Collection-84862](http://www.trimble.com/support_trl.asp?Nav=Collection-84862) から起動します。
- Trimble データ送信ユーティリティを使用します：バージョン 1.51 またはそれ以降がインストールされている必要があります。データ送信ユーティリティは、[www.trimble.com/datatransfer.shtml](http://www.trimble.com/datatransfer.shtml) からインストールすることができます。バージョン 1.51 をお持ちの場合は、新しいバージョンを更新する必要はありません。Trimble Update Office Software パッケージを [www.trimble.com/support\\_trl.asp?Nav=Collection-84862](http://www.trimble.com/support_trl.asp?Nav=Collection-84862) から起動することができます。
- Trimble Business Center ソフトウェアだけを最新バージョンに更新したい場合は、Trimble Access Installation Manager を起動してオフィスソフトウェアを更新する必要はありません。必要なコンバータは、Trimble Access ソフトウェアが搭載されているコントローラで利用できます。必要に応じて、Trimble Business Center ソフトウェアを使ってコンバータをコントローラからコンピュータにコピーすることができます。

## Trimble Access 最新リリース

Trimble Access バージョン 2013.01, 三月 2013



## 一般測量バージョン 2.11

### 解決された既知の問題

以下を実行する際に、時折見られたアプリケーションエラーが改善されています：

**GeoXR switching to new base** – An issue where, after connecting a Trimble GeoXR to an RTK network that was transmitting ephemeris messages as part of the GNSS correction stream, the message “Switching to new base” appeared every 10 seconds has been resolved.

## 道路バージョン 2.11

### 解決された既知の問題

以下を実行する際に、時折見られたアプリケーションエラーが改善されています：

**Note** – For Trimble CU controllers, Trimble Access バージョン 2013.00 and later can be installed only on the Trimble CU model 3 (S/N 950xxxxx). Trimble CU models 1 and 2 have insufficient memory to run later versions of Trimble Access.

## Trimble Access 前回までのリリース

### Trimble Access バージョン 2013.00, 二月 2013

#### 一般測量バージョン 2.10

**注** – Trimble CU コントローラの中で、Trimble Access バージョン 2013.00 をインストールできるのは Trimble CU モデル 3 (S/N 950xxxxx)だけです。Trimble CU モデル 1 と 2 には、バージョン 2013.00 をサポートするのに十分なメモリがありません。

#### 新しいハードウェア

##### Trimble Slate コントローラ

Trimble Slate コントローラには以下の新しい特長があります：

##### 内蔵 GPS

内蔵 GPS は、ポイントへのナビゲートや GPS 検索に使用することができます。GPS 検索は自動的に有効になりますが、外付けの GNSS 受信機が内蔵 GPS に優先して使用されます。

##### 内蔵コンパス

内蔵コンパスはナビゲーションを補助する役割をします。

##### 内蔵カメラ

8メガピクセルのカメラは、画像を撮影し、ポイントに添付するのに使用することができません。

### 内蔵セルラーモデム

内蔵 GSM/GPRS モデムを使うと無線でインターネット接続することが可能です。

### 内蔵電話

Trimble Slate コントローラには電話が搭載されています。

### Trimble Slate コントローラ についての付加情報:

Trimble Slate コントローラは Trimble R4 GPS 受信機にのみ接続します。

### 複数の言語で使用可能なオペレーティングシステム

Trimble Slate コントローラコントローラのオペレーティングシステムは複数の言語で表示することができます。初めて Trimble Slate コントローラコントローラを起動した際に、オペレーティングシステムの表示言語の選択画面が表示されます。対応している言語は下記の通りです。

- 英語
- スペイン語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- ポルトガル語(ブラジル)
- 中国語
- 韓国語
- 日本語
- ロシア語

オペレーティングシステムの言語を選択すると、Trimble Access にも同じ言語がインストールされます。従って、上記のいずれかの言語をオペレーティングシステムの表示言語として選択すると、Trimble Access の言語をインストールする必要はありません。上記以外の言語が必要な場合は、英語のオペレーティングシステムを選択したうえで、Trimble Access Installation Manager を使用してご使用言語をインストールしてください。

**メモ** – いったん選択された言語は変更できません。変更が必要な場合はコントローラをサービスセンターに返品する必要があります。

## 新しい特長

**メニューの改善:** メニューの表示方法が下記の通り改善されました。

- ポップアップリストがメニューボタンとして表示されるようになりました。メニューボタンは選択が容易です。この変更により下記の通りにメニュー名が変わりました。

以前のメニュー名	新しいメニュー名
一般測定の終了	一般測量終了
計算 + 面積の分割	面積計算
GDM データ出力	データ出力
Autolock と検索制御	目標制御
ノンプリズム	EDM 設定
データを別のデバイスに送信	データの送信
別のデバイスからデータ受信	データの受信
固定フォーマットファイルのエクスポート	固定フォーマットのエクスポート
固定フォーマットファイルのインポート	固定フォーマットのインポート
カスタムフォーマットファイルのエクスポート	カスタムフォーマットのエクスポート
カスタムフォーマットファイルのインポート	カスタムフォーマットのインポート
基礎表面	初期表面
主表面	最終表面

- 測量を開始するのにさらに何らかの操作が必要な場合には、測量スタイル名の後に記号(小さい黒い矢印)が表示されます。
- 以下の測量終了オプションに記号が(小さい黒い四角)追加されました。
  - GNSS 測量終了
  - 一般測量終了
  - 統合測量終了

**ステータスライン変更:** 下記のプロンプトが変更されました:

スタイルタイプ	古いメニュー名	新しいメニュー名
GNSS	<スタイル名>への切り替え	GNSS への切り替え
一般 I	<スタイル名>への切り替え	一般への切り替え

**誘導矢印:** 誘導矢印が大きくなり、ポイント、ライン、円弧、線分、道路の杭打ち時に見やすくなりました。

**自動 F1 / F2:** 自動 F1 / F2 機能を使用し、正面の観測後に自動的に反面を杭打ちできるようになりました。以前は 自動 F1 / F2 機能を使用してポイントの測定しかできませんでした。

**土量:** 地表面積という新しい土量計算方法へのサポートが追加されました。この方法では、選択された地表面と指定された材料の厚さから土量を計算することができます。

**注記:** 表面面積は表示もされます。

**GNSS 位置の再測定:** 傾きや動きが過剰な位置の測定時に 2 つの動作がサポートされるようになりました。

- **自動化された動作:** 新しい *自動放棄* オプションが *地形ポイント* と *観測された基準点* の GNSS 測量タイプに追加されました。このオプションが選択されていると、チルトセンサ内蔵 GNSS 受信機の使用時に過剰な傾きが検出された場合や、測定中に過剰な動きが検出された場合(全受信機)に、測定されたポイントは棄却され、再度測定が行われます。
- **手動操作による動作:** 新しい *再測定* オプションが追加されました。このオプションが選択されていると、測定中に過剰な傾きや動きが検出されたポイントを棄却し、再測定することができます。以前は、測定を継続してポイントを保存するか、または棄却するしかありませんでした。このオプションは、チルトセンサ内蔵 GNSS 受信機を使用して測定されたポイントで、測定中に過剰な傾きが検出された場合に使用可能です。または、すべての受信機において、測定中に過剰な動きが検出された場合にも使用できます。再測定する前にポールを必ず水平にもどして下さい。

**自動測定:** GNSS 測量でポイント、ライン、円弧、線分、または DTM の杭打ち時に、*測定* キーがタップされると、新しい *自動測定* オプションにより、一般測量は自動的に測定を開始します。このオプションは測量スタイルの一部として有効にできます。または、*オプション* を杭打ち画面からタップし、現在の測量に自動測定を有効にすることもできます。

#### eBubble(電子気泡管)キャリブレーション:

- *機器* メニューから eBubble オプションにアクセスできるようになりました。
- 受信機がまったく衛星を捕捉していなくても eBubble をキャリブレートできるようになりました。
  - 受信機ファームウェアは、v4.70 以降が必要です。
  - キャリブレーション時刻は受信機に保存されますので、コントローラの時刻とタイムゾーンが正確であるようにして下さい。

**eBubble ソフトキー:** *eBubble* ソフトキーが *ポイント*、*ライン*、*円弧*、*線分* および *DTM* 杭打ち誘導画面に追加されました。

**GLONASS 衛星:** RT ディファレンシャル測量で放送フォーマットが *OmniSTAR* に設定されている場合の GLONASS 衛星捕捉へのサポートが追加されました

**BeiDou 試験衛星:** BeiDou 試験衛星の観測データを捕捉・記録できるようになりました。

- BeiDou オプションは、後処理測量にのみ使用できます。
- BeiDou 試験衛星は捕捉・記録されますが、後処理測量には使用されません。
- BeiDou 試験衛星のデータは受信機のメモリにのみ記録することができます。
- 固定局および移動局受信機の両方に v4.70 以降のファームウェアがインストールされておらずと、後処理測量で BeiDou 試験衛星を捕捉することができません。

**QZSS 衛星:** QZSS 衛星 (J1) へのサポートが向上しました。

- 後処理測量の初期化時間を短くするため、QZSS 衛星 (J1) は初期化時間の衛星数に含まれるようになりました。
- QZSS L1-SAIF 信号は SBAS ディファレンシャル測量の補正情報源として使用できるようになりました。

**QZSS SBAS サポート:** RTK ディファレンシャル測量で無線リンクが途絶えた場合に QZSS SBAS 機能を使用できるようになりました。RTK 測量では、QZSS オプションは CMRx を放送フォーマットとして使用しているときにのみ利用可能です。

**初期設定の基準局無線機:** GNSS 測量スタイルの基準局無線機は、*Trimble TDL450* になりました。以前は *Trimble PDL450* でした。

**RT ディファレンシャル:** RT ディファレンシャル測量の精度初期設定値は 水平許容値 が 0.750 m、鉛直許容値 が 1.000 m に設定されるようになりました。以前は、水平では 1.000 m、鉛直では 3.000 m に設定されていました。最新の Trimble 受信機は高い捕捉性能を備えているため、許容値は下げられました。

**RTK 静止観測エポックカウンタ:** RTK では、静止観測エポックカウンタは、精度が許容範囲外になるとリセットされます。カウンタは、各エポックの精度が連続して許容範囲内である場合にしかエポックをカウントしません。そうすることによって、最終的に保存される座標に使用される全エポックが必ず精度条件を満たすようにします。この動作は、2012 年 10 月リリースの Trimble Access バージョン 2012.20 にすでに導入されましたが、ヘルプファイルとリリースノートに掲載されていませんでした。

**受信機ディレクトリ:** 受信機に内部と外部の両方のメモリがあり、ファイルを受信機からコントローラに転送する場合に、*機器 / 受信機ファイル / 受信機からインポート* の選択後の初期設定は、*内部* になりました。

**DTM ディスプレイ:** DTM をマップに表示する時に、現在位置の高さが表示されるようになりました。以前は、現在地の切り土/盛り土値と DTM 高さだけが表示されていました。この機能は Trimble Tablet でのみ利用できます。

**相対的 DOP:** ファームウェア 4.x 以降の受信機では、保存されている「相対的 DOP」記録が「いいえ」に設定されるようになりました。これらのバージョンの受信機ファームウェアは衛星群 DOP を生成するためです。

**固定局および移動局モードの設定:** 測量スタイルの編集時と、受信機内蔵無線機への接続時に、必要に応じて固定局または移動局に切り替えるように促すメッセージが表示されるようになりました。

**受信機ファイル:** 受信機に保存されているファイルについて以下の点が改善されました:

- 8 文字以上の名前のファイルも正しく表示されるようになりました
- 8 文字以上の名前のファイルも削除できるようになりました。
- フォルダのツリーを上下に移動し、ツリーのどこからでもダウンロードできるようになりました
- /内部 および /外部ファイルシステムツリーの両方に対応している受信機に、ツリーへのサポートが追加されました

**R8/R6/R4 受信機:** R8-4、R6-4、R4-3 受信機へのサポートが追加されました:

**コントローラ内部アンテナ名:** 「TSC3 内部」および「Yuma 内部」アンテナ名が「コントローラ内部」に変わりました。

**ステーション表示:** 別のステーション表示へのサポートが追加されました。ステーションは 10+00.0 オプションとして表示されますが、+ の前の値は、ステーションインデックス増加量によって分けられます。残りは + の後に表示されます。例えば、ステーションインデックス増加量が 20 に設定されていたら、ステーション値 42.0 m は 2 + 02.0 m として表示されます。この方法は ジョブ / ジョブのプロパティ / 単位 から使用できます。ステーション表示 フィールドから ステーションインデックス を選択し、ステーションインデックス増加量 フィールドに適切な値を入力します。このディスプレイオプションは、ライン、円弧、線分、道路、トンネルに適用することができます。これはブラジルで使用されていますが、他の国においても使用できる場合があります。

**最後に使用された設定をアップグレード後も保持:** Trimble Access バージョン 2012.20 以降からのアップグレード後も保持される設定が増えました。最後に使用されたオプションや方法などの設定、プリズム設定などが、Trimble Access Installation Manager のアップグレード後も保持されます。

**線形からの法面:** 線形からの法面の杭打ち時に、法面の法尻/肩位置(法面が地面と交わるポイント)から法面のつなぎ目位置まで点線が表示されるようになりました。

**コリメーションおよび耳軸チルト調整:** 測定値の標準偏差が表示されるようになり、また測定中にも更新されるようになりました。観測の一貫性の指標となります。

**PIN ロックセキュリティ:** Trimble Access を使用するすべての Trimble VX Spatial StationS シリーズにアクセスするための PIN および PUK を設定または変更できるようになりました。「機機設定」画面から実行します。以前は PIN ロックセキュリティは、Trimble VX Spatial Station または Trimble S8 トータルステーションの反面ディスプレイからしか有効にできませんでした。

**CSV ファイル:** Unicode (UCS-2) で保存されている CSV ファイルのインポートおよびリンクへのサポートが追加されました。

**後視センタリング誤差:** 機器と後視のセンタリング誤差を個別に特定できるようになりました。以前は、機器と後視の両方に起こった 1 つのセンタリング誤差が特定できるだけでした。

**ワールドファイル:** .png 画像ファイルの\*.pgw 拡張子へのサポートが追加されました。

**JobXML バージョン番号:** JobXML ファイルのエクスポート時にバージョン番号を選択できるようになりました。

**ログインユーザ名変更後の動作の改善:** 測量中に ログインユーザ名 を変更しても、測量アプリケーションを再起動し、新しいログイン情報を使用するように求められるだけになりました。以前に表示されていた警告は表示されなくなりました。

**座標系データベースの更新:**

- カナダ NTv2 測地系グリッドが追加されました
- UPS 座標系は、測地系の選択を必要とするように変更されました
- 以下の新規座標系定義が追加されました:
  - Columbian Bogota MAGNA
  - Este Central MAGNA

- Este Este MAGNA
- Oeste MAGNA
- Oeste Oeste MAGNA
- 新規にロシアの GKS-2011 および PK-90.11 楕円体および測地系定義が追加されました

## 解決された既知の問題

**線分の杭打ち時の過剰な傾き:** 過剰な傾きのあるポイントの保存時に、ポールが許容範囲内であるにもかかわらず「過剰な傾き」メッセージが表示され続ける問題は解決されました。

**RTK オンデマンド:** RTK オンデマンドの **一時停止モード** が Trimble R10 受信機で作動しない問題は解決されました。

**開始固定局:** 固定局の起動時に、固定局無線局出力が開始されない問題は解決されました。この問題は、アンテナ高がステータスバーに表示される前に固定局を開始しようとした時にだけ発生していました。

**無線機設定:** *Esc* をタップし、**ステーション ID の有効化 オプション** への変更を放棄することを選択したにもかかわらず、無線機設定への編集が保存されていた問題は解決されました。

**受信機ハードウェアバージョン:** 接続された GMSS 受信機のハードウェアバージョンが **受信機設定** 画面に表示されるようになりました。

**Trimble S3 トータルステーション マップ表示:** GNSS ポイントが、Trimble S3 トータルステーションのマップに表示されない問題は解決されました。

### xFill の問題:

- RTX 衛星の機体が衛星プロットやリストに表示されない問題は解決されました。以前は衛星の機体は xFill が開始されないと表示されませんでした。
- 新しい GNSS 測量スタイルの作成時に、アンテナ高として R10 を選択すると、xFill が自動的に選択されていた問題は解決されました。

**OmniSTAR:** 測量スタイルが OmniSTAR に戻るように設定されており、**RTK を待たずに OmniSTAR を続けて開始** を選択している場合に、RTK & インフィル測量を開始時にキャンセルしても、インフィルのメッセージはステータスラインに表示されなくなりました。

**SBAS ステータス:** **SBAS ステータス** を **お気に入りメニュー** から選択できない問題は解決されました。以前は、**SBAS ステータス** を **お気に入りメニュー** に追加しても、テキストが淡色表示されて選択できませんでした。

**GPS 検索 / 位置:** **GPS 検索** や **機器 / 位置** オプションの使用時に、Trimble Access が間違った受信機タイプを使おうとする問題は解決されました。

**RTK 固定局座標:** 新しい固定局が測量中に検出されると、間違った RTK 固定局座標が使われる問題は解決されました。この問題は、新しい固定局が、開いているジョブファイル内のポイントと同名で座標が異なる場合に発生していました。

**間違っただステータスラインメッセージ:** 固定局受信機への接続時に、ステータスラインで *固定局測量* と報告されても、実際には測量が行われていないという問題は解決されました。

**GPS アンテナ高:** ターゲット高が GPS アンテナを介して変更された場合に、*統合測量* 内の GPS アンテナ高が更新されない問題は解決されました。

**連続 GPS ポイント:** 属性が連続 GPS ポイントに記録されないことがある問題は解決されました。この問題は、新しいジョブで、他に属性を持つポイントが記録されていない時に、最初の記録された連続ポイントにのみ発生していました。

**RTK 初期化:** 初期化モードが「RTK 初期化」画面において正しいモードを表示しない問題は解決されました。

**インターネット接続:** Trimble Access が、Trimble R10 受信機から SIM カードを抜いた後にインターネットに接続できなくなる問題は解決しました。

**ダイヤルアップ VRS:** 補正が、ダイヤルアップ VRS にリダイヤル後に再開しない問題は解決しましたが、受信機ファームウェア 4.62 が必要です。

**GeoXR 衛星捕捉:** Trimble GeoXR が衛星を捕捉できなかった問題は、GNSS ファームウェアバージョン 4.54 では解決されました。この問題が発生すると、ソフトウェアステータスバーに受信機アイコンが点滅し、衛星アイコンの横に 0 が表示されていました(接続試行中に表示)。この GNSS ファームウェアバージョンがインストールされているか確認するには、一般測量で *機器 / 受信機設定* を選択します。

**高速フィックス(Fast fix):**

- 「Fast fix」を押した後に「測定」を押さないとポイントの測定ができない問題は解決されました。
- 「チルト自動測定」は、「測量計算」メニューの状況依存フィールドから「Fast fix」で測定されたポイントをサポートするようになりました。

**低バッテリー残量警告:** Trimble R10 受信機でバッテリーの残量が少なくなっていることを知らせる警告が表示されない問題は解決されました。

**メモリ空き容量の低下:** メモリの空き容量が少なくなったことによってコントローラが強制終了されないように改善されました。

**ラインの杭打ち:** デルタの更新が遅れる問題は解決されました。この問題は光学測量機器の使用時にのみ発生していました。

**複数コード:** 1 つのポイントに同名のコードが複数割り当てられた場合に、属性が正しく取り扱われなかった問題は解決されました。以前は、同名の特徴の属性はひとまとめにされ、各特徴に割り当てられていました。例えば、同じ特徴が 3 つあり、それぞれに 4 つの属性があった場合、全ての属性が各特徴にコピーされるため、各特徴に 12 の属性が割り当てられてしまっていました。さらに、属性の表示も特徴のグループごとに分けられていませんでした。

**Trimble Trimble M3 トータルステーションの問題:**



- 機器が水平になっていても、電子気泡管が赤で表示される問題は解決されました。
- *Tracklight* ボタンを GNSS 機能画面からタップしても、トラックライトが切り替わらない問題は解決されました。

**遠隔オブジェクト:** Trimble M3 トータルステーションを使用した *角度のみ* 観測の勾配距離が、角度の測定後ただちに計算されなかった問題は解決されました。以前は、*保存* を押す前に鉛直角度を変更すると、高さが間違っで計算されていました。

**ビデオ自動測定:** *自動測定* オプションに *ビデオ* 画面の *オプション* ソフトキーからアクセスしても、最初の測定時にしか作動しない問題は 解決されました。

**失われたメモ:** ポイントにリンクされたメディアファイルに付加されたメモが、そのメディアファイルが別のポイントやジョブにリンクされた時に失われる問題は解決されました。

**DXF エクスポート:** ジョブから削除されたエンティティが、エクスポートされた DXF ファイルに含まれる問題は解決しました。

**アンテナ高:** 統合測量の中で、最後に使用された非 DR ターゲットとアンテナの補正が使用されない問題は解決されました。

**音声プロンプト:** 測量専用の音声プロンプトが、測量時以外にも再生される問題は解決されました。

**座標計算交点:** 計算された交点の間違っている問題は解決されました。この問題は、ラインを選択する前にタップ&ホールドメニューにアクセスし、終了し、その後に再びタップ&ホールドメニューから交点を計算した場合にのみ発生していました。

**ログイン警告:** ログイン情報の変更後、測量アプリケーションを再起動するように促されない問題は解決されました。

## アプリケーションエラー

以下を実行する際に、時折見られたアプリケーションエラーが改善されています：

- 古いアンテナ.dat ファイルがコントローラに保存されている Trimble R10 受信機へ接続
- 測定コードに新しいグループを追加
- *杭打ちしたデルタの確認* 画面から、統合測量スタイルを使用した杭打ち時に、光学測量への切り替え
- Trimble CU コントローラの Trimble キーを押し、メニューから *Trimble Access* または *情報* 以外を選択
- ユーザ名の変更後に「警告」ダイアログから一般測量を終了できるようになりました
- ESRI シェープファイルに 1 つのポイントによって定義されたポリラインが含まれる場合、シェープファイルを追加し、マップからレイヤとして選択しようとしたとき。
- Receive a new Automatic RTCM online transformation.

## 道路バージョン 2.10

### 新しい特長



**平面図の線画:** GNSS 測量、または光学ロボティック測量での Trimble または LandXML 道路の杭打ち時に、平面図において道路を定義する線画が表示されるようになりました。以前は、線画は GENIO 道路の杭打ちや Trimble、LandXML、GENIO 道路の見直しの時にだけ使用することができました。

**メモ** – 線画が Trimble Access version 2012.20.リリースに追加されたグリッドに代わります。

**側方勾配の編集:** 側方勾配値を編集し、新しいつなぎ目オフセットを誘導画面から選べるようになりました。この機能は、Trimble 道路や LandXML 道路を **ステーションとオフセット** および **近接オフセット** の杭打ち時に使用できます。画面をタップ&ホールドし、**側方勾配の編集** を選択します。以前は、この編集機能は、**オフセットフィールドの側方勾配の新しいオフセットを選択** オプションからアクセスしていましたが、このオプションはなくなりました。

**LandXML ファイル:** LandXML ファイルへのサポートが追加されました:

- 水平線形が交点によって定義されている場合

**注記** – スパイラル-円弧-接続スパイラル-円弧-スパイラルによって定義されている曲線はサポートされていません。

- 横断面高度が絶対値の場合。定義または **測量** メニューから LandXML ファイルを選択し、横断面高さが絶対値の場合、**絶対設計横断面高さ** オプションを選択し、テンプレートが正しく算出されるようにします。
- 遷移タイプが **立方体** として定義されている 12d モデルから。立方タイプは識別できないため、3 つのファイルのうちの一つを選ぶ時には、適用可能なタイプを選ぶように求められます。2 つの立方体タイプがサポートされています。
  - 立方スパイラル
  - NSW 三次放物線

**NSW 三次放物線:** NSW 三次放物線の定義へのサポートが向上しました。遷移  $X_c$  値を入力する条件を削除しました。ソフトウェアは、遷移  $X_c$  値を入力された **半径** と **長さ** 値を計算・表示します。

**自動測定:** GNSS 測量における道路の杭打ち時に、新しく追加された **自動測定** オプションを使用すると、**測定** キーのタップによって道路が自動的に測定を開始します。このオプションは測量スタイルの一部として有効にすることができます。または、**オプション** を杭打ち画面からタップすると、現在の測量で自動測定を有効にすることができます。

**ステーション表示:** 別のステーション表示へのサポートが追加されました。ステーションは 10+00.0 オプションとして表示されますが、+ の前の値は、**ステーションインデックス増加量** によって分けられます。残りは + の後に表示されます。例えば、**ステーションインデックス増加量** が 20 に設定されていたら、ステーション値 42.0 m は 2 + 02.0 m として表示されます。この方法は **ジョブ / ジョブのプロパティ / 単位** から使用できます。ステーション表示フィールドから **ステーションインデックス** を選択し、**ステーションインデックス増加量** フィールドに適切な値を入力します。このディスプレイオプションは、ライン、円弧、線分、道路、トンネルに適用することができます。これはブラジルで使用されていますが、他の国においても使用できる場合があります。

**GeoXR スクロールバー:** Trimble、LandXML または GENIO 道路を横断面表示から見直す場合や、GENIO 道路において、横断面表示から杭打ちする位置を選択する場合、スクロールバーの動作が変わりました。バーを画面上方向にスライドさせると、道路の先の方のステーションを選択することができます。

**誘導矢印:** 誘導矢印が大きくなり、道路の杭打ち時に見やすくなりました。

**杭打ち済みデルタの確認プロンプト:** The prompt for an edited hinge offset for a Trimble road has been renamed to *New hinge offset*. Previously it was *New offset for side slope*.

**精密高:** 精密高を使用した杭打ち時に、鉛直精度がトータルステーションから来ている場合は、ステータスラインが鉛直精度に V(TS) のプレフィックスを付けるようになりました。

**eBubble ソフトキー:** eBubble ソフトキーが杭打ち誘導画面に追加されました。

## 解決された既知の問題

**道路上の位置:** *道路上の位置* によって杭打ちしている際に、保存されたステーション、水オフセット、および道路への鉛距離値 (ジョブのレビューに表示される通り) が、測定された位置 (杭打ち通りのデルタ画面) と異なる問題は解決されました。この問題は、特徴と属性に関連付けられているコードが測定済みポイントに割り当てられている場合にのみ発生していました。ポイントとその属性を保存する前に測定済みポイントから離れた場合、属性が *Attrib* ソフトキーを使わずに入力されていたら、新しい位置がステーション、オフセット、鉛直距離の計算に使用されていました。つまり、*Attrib* ソフトキーを使用するように強制せずに、属性入力フォームが表示されるのを待って属性を入力すると、ステーションとオフセット値は間違っていました。

**ファイルからの位置:** 杭打ち画面の一番上に表示される値が、選択された位置を反映しない問題は解決されました。この問題は、位置がリストから選択されなかった場合にのみ発生していました。

**LandXML ファイル:** 連続した横断面に異なる数や記録があった場合に <None(なし)> テンプレートが挿入されなかった問題は解決されました。

**線画のレビュー:** 道路のレビュー時に、平面ビューの線画が道路の定義を正しく表していなかった問題は解決されました。以前は、横断面はテンプレートや片勾配が適用されたステーションに対しては表示されませんでした。これらのステーションが横断面間隔や水平および鉛直曲線位置と一致していない場合で、これらのステーションにおけるテンプレートが前や次のテンプレートと異なる、または拡幅も含めた片勾配記録と異なる場合に、これらのステーションは平面図の線画に反映されていませんでした。

**注記** - この問題は、道路のレビュー時にのみ発生していました。道路の測量時にはすべてのテンプレートアプリケーションと片勾配記録は考慮されます。

**eBubble:** eBubble が選択画面に表示されていた問題は解決されました。位置の杭打ち、測定、および保存時にのみ表示されるようになりました。

**デルタ更新速度:** 誘導デルタの更新に時間がかかった問題は解決されました。この問題は、Trimble 道路を *道路上の位置* 法で TSC2 コントローラを使用して測量していた場合にのみ発生していました。

## アプリケーションエラー

以下を実行する際に、時折見られたアプリケーションエラーが改善されています:

- *ファイルからの位置* によって杭打ちしている際に、ファイルを選択しないで杭打ちする位置を選択しようとした場合
- Stake by *道路上の位置* または *最も近いオフセット* によって杭打ちしており、現在地が緩和曲線開始位置の端の上または付近の場合。

## トンネルバージョン 2.10

### 新しい特長

**NSW 三次放物線:** NSW 三次放物線の定義時のサポートが向上しました。遷移  $X_c$  値の入力条件を削除しました。ソフトウェアは、遷移  $X_c$  値を、入力された *半径* と *長さ* 値から計算して表示するようになりました。

**横断ガイドライン:** *自動スキャン*、*トンネル内の位置*、または *杭打ち* による測量時に、水平および鉛直ラインを横断面ビューで表示できるようになりました。鉛直ラインは、センターラインを通して鉛直に走る緑の線として表示されます。水平ラインは、*スプリングライン* としても知られ、センターラインを通る水平の緑の線として表示されます。センターラインに対して鉛直にオフセットすることもできます。これらのラインは、送料の開始時に *スキャン/手動設定* 画面から定義されます。

**ステーション表示:** 別のステーション表示へのサポートが追加されました。ステーションは 10+00.0 オプションとして表示されますが、+ の前の値は、*ステーションインデックス増加量* によって分けられます。残りは + の後に表示されます。例えば、*ステーションインデックス増加量* が 20 に設定されていたら、ステーション値 42.0 m は 2 + 02.0 m として表示されます。この方法は *ジョブ/ジョブのプロパティ* / *単位* から使用できます。ステーション表示フィールドから *ステーションインデックス* を選択し、*ステーションインデックス増加量* フィールドに適切な値を入力します。このディスプレイオプションは、ライン、円弧、線分、道路、トンネルに適用することができます。これはブラジルで使用されていますが、他の国においても使用できる場合があります。

### 解決された既知の問題

**開始位置:** 開始位置に線分オフセットが適用されなかった問題は解決されました。

## モニター中バージョン 2.05

### 解決された既知の問題

**水平アイコン:** 機器に接続されていない時に、*機器ステータス* 画面の *水平* ボタンが表示されない問題は解決されました。

**水平ボタン:** 機器ステータス画面の 水平 ボタンが使用できなかった問題は解決されました。

## Land Seismic バージョン 1.40

### 新しい特長

**光学機器:** 光学機器へのサポートが追加されました。

#### 除外ゾーン:

- 現在位置が除外ゾーン内の時には除外ゾーンの名前が画面に表示されます。
- 除外ゾーンに割り当てられた色は初期設定では赤になっています。
- 除外ゾーンへの進入と退出の記録を可能にするオプションが追加されました。
- ポリゴン定義(POLYGON、POLYGONM、POLYGONZ)を持つ ESRI シェープファイルが除外ゾーンファイルから直接使用できるようになりました。しかし、除外ゾーン定義はシェープファイルに追加できません。

**新しいデータベース記録:** グリッド定義、湾曲したライン、除外ゾーン、除外ゾーンへの入出情報、指定の陸上地震ポイント情報などを記録するのに、カスタムデータベースレコードが使用されます。

**切り/盛り値:** 杭打ちされているポイントに計算された切り/盛り値は、グラフィック杭打ち画面に表示されるようになりました。

**インライン/クロスラインデルタ:** インライン/クロスラインデルタは、ライアウト許容範囲内の場合には、除外ゾーン内にあっても緑色で表示されるようになりました。

**eBubbl ソフトキー:** eBubble ソフトキーが杭打ち誘導画面に追加されました。

### 解決された既知の問題

**間違ったポイントの初期設定名:** マップから新しいポイントが杭打ちのために選択された時、初期設定の設計ポイント名が更新されませんでした。

**「杭打ち」ボタンを 2 回タップしたときのエラー:** 地震杭打ち画面から「杭打ち」ボタンを 2 回タップすることができたため、システムが停止するエラーが発生していました。

**地図の全範囲ズーム:** 除外ゾーンのグラフィック範囲とグリッド定義が、地図の全範囲ズームにおいても考慮されるようになりました。

**網がけ表示:** 除外ゾーンの網がけは、*ポリゴンの網がけ* マップオプションが有効になっている場合にだけ実行されるようになりました。

**記憶されない方位角:** 2 つのポイント間の方位角フィールドは、セッション間にも記憶されるようになりました。

#### アプリケーションエラー

以下を実行する際に、時折見られたアプリケーションエラーが改善されています:

- 現在のジョブを再び開こうとする。
- 枕打ち ボタンをタップした後、測定の開始時に 枕打ち ボタンをタップできるようになりました。

## Trimble Access Installation Manager

### 新しい特長

**Trimble Solution Improvement Program:** Trimble Solution Improvement Program が Trimble タブレットのインストールで使用できるようになりました。

## Trimble Access サービス

### 新しい特長

**使用言語:** Trimble Connected Community 内の Trimble Access Services のページは以下の言語に翻訳されています:

- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- ポルトガル語
- スペイン語
- 韓国語
- 日本語

翻訳されているページには、組織登録の管理ツール、「ユーザの管理」および「サイトの管理」のほか、ユーザ閲覧ページや新しく作成されたプロジェクトサイトがあります。

### 新しい特長 – 2012 年 11 月リリース

**ビジネスモデルの変更:** AccessSync は、有効な Trimble Access ソフトウェアメンテナンス契約（標準または延長）があれば無償で利用できます。AccessSync ソフトウェアとライセンスは Trimble Access インストールマネージャを使用してダウンロードできるようになりました。

**Trimble Connected Community の組織が AccessSync サービスで無償で使用可能:** Trimble Connected Community の組織は AccessSync サービスで使用することを目的に作られています。新しい組織は、<http://my.trimbleaccess.com> からご登録ください。少なくとも 1 台のコントローラの有効な AccessSync ライセンスが必要です。組織は会社には 1 つに限られ、以下を含みます:

- 1 つのサイトマネージャ(管理者)アカウント
- 最大 100 人分のユーザアカウント
- 組織あたり 10 GB の保存領域

**Trimble Connected Community ショートカット:** Trimble Connected Community は <http://my.trimbleaccess.com> からアクセスできます

**新しい管理ツール:** Trimble Connected Community 組織内の新しい管理ツールはユーザの管理(追加、変更、削除)やプロジェクトサイトの管理(追加、編集、削除)のワークフローをシンプルにします。これらのツールにアクセスできるのは「サイトマネージャ」のみです。

**許可の制御の簡素化:** Trimble Connected Community 内の許可の制御が Trimble Access の組織内で簡素化されました。Trimble Connected Community の組織の様々な要素におけるオーナー、エディター、ビューワという異なる許可レベルがなくなり、プロジェクトサイトとデータへのアクセス許可のあるなしの違いだけになりました。プロジェクトへのアクセス権があれば、AccessSync サービスを使用し、そのプロジェクトのデータを同期できます。

**別サイトへのナビゲーションの簡素化:** Trimble Access 組織の右上に追加されたナビゲーションボックスにより、アクセス権のあるサイト間を簡単にナビゲートできるようになりました。データ処理やほかの無償サービスは、ナビゲーションボックスをクリックし、「測量ツール」を選択するだけでアクセスできます。無償サービスにアクセスするために組織にログインする必要はありません。

**Trimble Business Center 内の Trimble Access サービス:** Trimble Business Center 内の Trimble Access サービスは、新しいウェブインターフェースと一貫性があるように更新されました。ウェブインターフェース内で使用できるすべての機能は Trimble Business Center を通じて使用可能になりました。データ処理やほかの無償サービスは、サービスページ右上のナビゲーションボックスをクリックし、「測量ツール」を選択することによってアクセスできます。

## 解決された既知の問題

**AUSPOS データ処理サービス:** GNSS データを AUSPOS 他社製データ処理サービスにアップロードして処理できるようになりました。以前は Trimble Access Services ではできませんでした。

**ユーザアカウントの編集:** ユーザアカウントの編集時に、ログインすると表示される初期設定画面は、メイン誘導画面にリセットされなくなりました。

**すべてのユーザフォルダ:** プロジェクトサイトが作成されると **すべてのユーザフォルダ**が作成されるようになりました。以前はこのフォルダは手動で作成しなければなりませんでした。

## AccessSync バージョン 1.51

### 新しい特長

**履歴と戻るボタン:** フォルダ表示フォームの **履歴と戻る** ボタンが入れ替わりました。フォームを開いたときに誤って履歴を消してしまうことを防ぎます。

### 解決された既知の問題

**パスワード制限:** フィールドで、次の記号を含むパスワードを使用できるようになりました: & # + \_。以前はエラーメッセージが出ていました。

## Trimble Connected Community

## 新しい特長

Trimble Connected Community ショートカット: Trimble Connected Community は、<http://my.trimbleaccess.com> からアクセスできるようになりました。

変更に関する情報は、Trimble Connected Community にログインし、TCCentral サイト ([www.myconnectedsite.com/site/tcc/tccsite](http://www.myconnectedsite.com/site/tcc/tccsite)) から、「What's New in TCC?」(TCC の最新情報)をクリックしてください。

## その他の情報

本節は、Trimble CU、TSC2、TSC3 コントローラのように適用されます。

### システムオプションの設定

新しい一般測量 システムは、出荷時は未設定です。コントローラを機器に接続すると、自動的に設定されます。または **設定 / 接続 / 測量スタイル / オプション** を選択して、適切なオプションを選択します。

- GNSS ユーザー – GNSS 測量 を選択
- 一般測量トータルステーションユーザー – 一般測量 を選択

詳細については、一般測量のヘルプをご参照になるか、お近くの Trimble 販売店にご相談ください。

こういったオプションは、ソフトウェア内で使用可能なスタイルと、それに関連するオプションを決定します。一般測量 システムの再設定はいつでも実行できます。

### Trimble CU コントローラをオフィスコンピュータに接続

Trimble CU コントローラは、オフィスコンピュータへのドッキングステーションを介して、USB を使用して通信します。ドッキングステーションは、[USB からヒロセ]ケーブルを使用してオフィスコンピュータに接続される必要があります。

ドッキングステーションからオフィスコンピュータのシリアルポートへの接続に、[ヒロセから7ピン レモ]ケーブルと[7ピン レモから DB9]ケーブル (GNSS システム付属)を繋げたものを使用することはできません。

### TSC2 コントローラをワイヤレス機器に接続

TSC® コントローラをワイヤレス技術を使用して機器に接続すると、画面上のステータスバーのアイコンがアニメーションになり、接続試行中であることを表します。接続が確立すると、アイコンは大きな 2 つの矢印となって表示されます。この機能は OS バージョン 5.0.2 では正常に動作しますが、バージョン 5.0.3.では動作しません。しかし、アイコンをクリックすると「接続可能性」ダイアログが接続の状態を適切に表示します。

### Microsoft ActiveSync に関して

Microsoft Explorer と Trimble データ転送ユーティリティは、コントローラ上のフォルダを見つけられなかったり、ファイルを表示できなかったりすることがあります。この問題は、別の Microsoft Explorer ウィンドウが過去の接続でコントローラを検索中のままになっていたり、コントローラがリセットされて新し



い接続が確立していたりすると、発生する可能性があります。この問題の発生を防ぐには、コントローラを切断する前に、Microsoft Explorer のウィンドウすべてを閉じるようにしてください。

## Trimble CU コントローラと Trimble Tablet のペアリング

Trimble Tablet と Trimble CU コントローラをペアリングする際に時間切れになるのを防ぐには、短いペアリングコードを速やかに入力することをお勧めします。

## ヘルプと資料に関して

一般測量 のヘルプは、「文脈対応」ヘルプです。ヘルプにアクセスするには、画面上の[?]をタップして下さい。

ヘルプ項目のリストが表示されます。関連項目は反転表示されています。見たい項目を開くには、その項目名をタップします。

このヘルプは、[www.trimble.com](http://www.trimble.com) より 1 つの PDF ファイル (Adobe 社の Portable Document Format) としても提供されています。オフィスコンピュータでこのファイルを表示できます。それを使用して、特定の項目を検索したり、ヘルプのページを印刷したりできます。